

渋谷でマナブ

第 5 号

発行 平成29年 4月

私と渋谷の街

巻 頭 言

東京渋谷学習センター

所長 宮本 文人



4月に東京渋谷学習センターの所長に就任しました。3月までは、東京工業大学の環境・社会理工学院建築学系において教育と研究にたずさわっていました。私の専門である建築学は、様々な専門分野から成り立っています。大きくは、1)意匠・歴史、2)建築・都市計画、3)構造・材料、4)環境・設備、の4つの分野があり、さらに、それぞれの中で細分化されています。私の専門は建築計画と呼ばれる分野ですが、詳しくいうと、その中でも特に、幼保連携施設、幼稚園から、小・中・高等学校、大学まで教育施設全般、図書館や集会施設などの教育関連施設、環境心理学を専門としています。建築計画の分野では、結構、幅広くいろいろな研究を行ってきた方だと思います。

私は、教育施設の研究者であったこともあり、東京工業大学在職中20数年間にわたり、パリに本部があるOECD（経済協力開発機構）のCELE（先端学習環境センター）で日本代表を務めていました。OECDは、本来、経済の発展を目指す国際機関ですが、経済を根底から支えるものとして教育を重要視しており、内部に教育や教育施設に関する組織を設置しています。そのお蔭で、私は、国際会議に出席するために、ヨーロッパを中心に多くの国を訪れることができました。そして、直接、教育制度を教わり、教育施設を間近で見て、欧米と日本の教育制度や教育事情が異なることを知りました。私の専門分野に関連して、欧米と日本との違いについては、何かの折に、お話しできればと考えています。

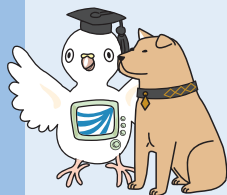
長い間、私は自分の専門分野を中心に研究をしてきましたので、その反動なのか、放送大学で提供されている幅の広い様々な分野の授業には大変興味を持っています。

本学習センターがある渋谷は、40年以上前になりますが、大学生だった頃に、よく来ましたので、私にとっては大変懐かしい街です。渋谷の近くに住んでいたこともあり、道玄坂を通して、よく渋谷駅周辺にきました。歩行者天国がはじまった時代で、道の真ん中を歩く気持ちよさを満喫しました。公園通りは、大学1年生の頃、まだバルコの建物がなく、のんびりとした広い散歩道のような雰囲気でした。もちろん、スペイン坂という通りの名前もなく、そこは、近道をする、ただの細道でしかありませんでした。センター街は、どちらかといえば、あまり足を運ぶことがない、寂しい通りでした。当時は、多くの若者が新宿に集まり、おしゃれな若者が原宿に行きはじめた時代で、渋谷は落ち着いた、少し大人の雰囲気がある街だったと思います。

今では、渋谷は、多くの若者が集まる、エネルギーに溢れた街になっています。駅周辺は、現在、建設工事中で混乱した状態ですが、数年後には、高さ230mのビルを中心とするいくつかの高層ビルと大きな地下広場が完成し、大きく変わります。10年後には、東京渋谷学習センターの辺りにもビルが完成し、広場も整備され、すっかりと様変わりするはずです。

街が変わる様子は、建築学の生きた教材ですので、観察することは、とてもいい勉強になります。

このような渋谷にある学習センターにおいて、興味深い様々な授業を提供する仕事ができるということは、建築を専門とする私にとって、大変光栄なことだと思っています。



目 次

巻頭言「私と渋谷の街」 1

東京渋谷学習センター所長 宮本文人

コラム 2

「会計と坂本龍馬」 中村義人

「友の死と哲学と」 山本史華

東京渋谷学習センター open&closeカレンダー 4

渋谷246セミナー 6

面接授業科目の追加登録について 7

お知らせ 8

会計と坂本龍馬



中村義人

放送大学客員教授（公認会計士）

会計の重要性は誰でも認めるところです、あの坂本龍馬も会計についてその認識を持っていました。龍馬は、慶應3年(1867年)10月14日徳川慶喜の大政奉還の英断に接し、大変感銘を受け討幕は止めて新政府の体制づくりに奔走しました。龍馬が示した新政府設立のための構想である新政府綱領八策において、新政府に必要なのは有為の人材であり、第一義に天下有名の人材を招致し顧問に供し、第二義に有材の諸侯を撰用し朝廷の官爵を賜い現今有名無実の官を除くものとししました。そのため、龍馬は同年11月15日京都で暗殺される少し前の11月5日に、土佐藩士後藤象二郎に送った手紙(草稿)に大政奉還の後、新政府の財政担当の候補に福井藩の財政を立て直した三岡八郎(みつおかはちろう)を推薦しています。2014年4月このことを書いた手紙が発見され、NHKの番組で紹介されました。

この手紙(越行の記)には、次のように三岡のことが書かれています。「龍馬は後藤象二郎の命令により、福井藩主松平春嶽と面会するために出向いたが、会うことはできなかった。しかし、三岡と会うことができ、政治情勢について話し合った。春嶽が江戸幕府の政事総裁職にあったときに、部下の三岡が幕府勘定局の帳面を調べたところ、幕府の金の内情はただ銀座局のみしか機能しておらず、気の毒がっていた。従って、金銀物産等の事を論ずるにはこの三岡を置いて他にいない。」

龍馬が推薦した三岡八郎は、越前の福井城下に生まれ、龍馬より5歳年上でした。

明治維新後、先祖の旧姓に戻し「由利公正(ゆりきみまさ)」と名を改めました。この名前の方が広く知られています。三岡は、春嶽に抜擢され藩政改革を進め、藩財政を立て直しました。具体的には、藩札を発行して財政の基盤を作り、藩内で生産される生糸や茶など付加価値のある産物を生産し、物産総会所を設けて藩内の生産品は物産総会所が買い上げ、それをオランダに輸出して財政立直しに貢献しました。このことが広く世に知れ渡り、龍馬は三岡を知ることになるわけです。

また、龍馬は同年8月28日雨の夜、土佐藩士佐々木高行(ささきたかゆき)の長崎の家を訪れ、遅くまで話しがはずみ泊っていきました。高行は、後藤や龍馬などと薩土盟約や大政奉還などについて協議しており、明治政府では参議・工部卿、枢密院顧問官など務めました。高行は日記(「保古飛呂比(ほごひろい)」)をつけておりこの日の龍馬の話が次のように記録されています。「是ヨリ天下ノ事ヲ知ル時ハ、會計尤モ大事也(会計が最も大事である)、幸イニ越前三岡八郎ハ會計に長ジ候間、兼テ咄合モ致置候事有之候、其御含ニテ、同人ヲ速ニ御採用肝要ト申シタリ、今夜鰻ヲ出し食ス、」

龍馬は土佐の豪商才谷屋の分家である坂本家に生まれ、商売の才覚があり、海援隊を組織して薩長間に武器・食料の取引仲介などの商社活動を行い、またそのために会計・財務の重要性を身近に理解していたものと思われます。

友の死と哲学と



山本史華

放送大学客員准教授（東京都市大学准教授）

昨年のことである。秋も深まる時分に、突然、友が逝った。まったく予期せぬ永訣だった。

彼とは大学一年の語学のクラスで知り合い、以来、人生の節々で互いに刺激しあいながら生きてきた。一歳年上の彼は、愚にもつかぬ私の戯言をいつも丸ごと受けとめて、なみなみつがれた酒とともに飲みほしてくれた。私にとっては兄貴のような存在でもあった。

だから、彼の訃報を受けたとき、魂を根こそぎむしり取られ、自分の中にぽっかりと穴が開いた感覚に陥った。穴には寒風が吹き込んでくる。そればかりでない。「なぜ彼が」「なぜこんなにも早く」と、矢継ぎ早に問いが襲いかかってくる。その問いに全身を串刺しにされ、懊悩する日々が続いた。

私の専門は哲学である。「万学の女王」とも呼ばれる哲学だが、哲学は他の学問とは異なる特徴がある。哲学以外の学問は、基本的に未知の探究が課題だ。まだ誰も発見したことのない真理や知識、技術などの追究をする。

ところが哲学は、ソクラテスの「無知の知」に言い表されるように、既知の探究なのである。「知っていたと思っていたが、実際は何も知らなかった」「当たり前の事柄が、実は当たり前でなかった」といった驚きから始まり、自分の依って立つ地面を掘り崩していくように思考を進めるのが哲学だ。

友の死に接して、私は自分がいかに死を知らなかったかを知った。まがりなりにも

この歳まで生きてきて、近親の死も経験してきた。ところが、あるうことか、死について何も知りはない。そのことに気付かされたのである。

しかし、と翻って考えてみる。死を知ることには本当にできるのだろうか、と。「死んだものはもう帰ってこない。生きているものは生きてることしか語らない」（『永久革命者の悲哀』）と看破したのは塩谷雄高だったが、我々はみな死のアマチュアであり、アマチュアの思考をいくら束ねても、死の理解には到達できないのではないか。しょせん人間の能力には限界がある。人間の思考にも、表現力にも限界がある。死は、それらの淵の向こう側にあるもので、生きている我々が理性という名の灯を携えて覗こうとしても、何も見えない気がする。

そのためなのだろうか。不思議なことに、死は日本の法律では一切定義されていない。『広辞苑』にも「死ぬこと。命がなくなること」としか書かれていない。誰にとっても自明でありながら、誰もが知らないもの。それが死だ。ならば、死ほど哲学に相応しい課題もないだろう。

哲学は、物分かりのよい優等生にはむかない学問である。「分かってしまう」とは問いの終焉であり、分かると、人はそれ以上考えなくなるからだ。年を重ねていくと、人は分かるフリをしたがるが、それは哲学でない。「世の中なんて、分からないことだらけだよな」。哲学の初心に誘ってくれた友にそう語りかけながら、私はもう一度いま、哲学を始めたいと思っている。

東京渋谷学習センター open & close カレンダー

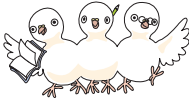
開館時間は都合により
変更することがあります。

☆：夜間面接授業あり。

開館時間と窓口・図書視聴学習室のご利用
時間が異なります。ご注意ください。

事務室窓口 & 図書視聴学習室		
利用時間	open	close
火～金	10:00	～ 18:30
土・日	9:30	～ 18:00
閉所日	月曜日・祝・祭日 学長またはセンター所長が定めた日	

5月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
×	×	×	×	×	open 9:30 close 18:00	
閉所日	臨時閉所日	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	開館 9:00～18:00	
8	9	10	11	12	13	14
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
	開館 9:00～18:30				開館 9:00～18:00	
15	16	17	18	19	20	21
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
	開館 9:00～18:30				開館 9:00～18:00	
22	23	24	25	26	27	28
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
	開館 9:00～18:30				開館 9:00～18:00	
29	30	☆31☆				
×	open 10:00 close 18:30					
	開館 9:00～18:30	開館 9:00～21:00				

4月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
  					open 9:30 close 18:00	
					開館 9:00～18:00	
3	4	5	6	7	8	●9●
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00～18:30				開館 9:00～18:00	
10	11	12	13	14	15	16
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00～18:30				開館 9:00～18:00	
17	18	19	20	21	22	23
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00～18:30				開館 9:00～18:00	
24	25	26	27	28	29	30
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00～18:30				× 昭和の日 開館 9:00～18:00	

●4/9(日)は入学者の集いの為、窓口は11:30～16:00の間ご利用できません。
図書視聴学習室は、ご利用できます。

6月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
 			open 10:00 close 18:30		open 9:30 close 18:00	
			開館 9:00～18:30		開館9:00～18:00	
5	6	☆7☆	8	9	10	11
× 閉所日	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
	開館 9:00～18:30	開館 9:00～21:00	開館 9:00～18:30		開館 9:00～18:00	
12	13	☆14☆	15	16	17	18
× 閉所日	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
	開館 9:00～18:30	開館 9:00～21:00	開館 9:00～18:30		開館 9:00～18:00	
19	20	☆21☆	22	23	24	25
× 閉所日	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
	開館 9:00～18:30	開館 9:00～21:00	開館 9:00～18:30		開館 9:00～18:00	
26	27	28	29	30		
× 閉所日	open 10:00 close 18:30					
	開館 9:00～18:30					

7月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
					open 9:30 close 18:00	
					開館 9:00~18:00	
3	4	5	6	7	8	9
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00~18:30				開館 9:00~18:00	
10	11	12	13	14	15	16
×	×	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
閉所日	臨時閉所日	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00	
17	18	19	20	21	22	23
×	open 10:00 close 18:30			事務室 9:00~12:00/12:45~19:00 図書視聴学習室 9:30~18:30		
海の日	開館 9:00~18:30			開館 8:30~19:00		
24/31	25	26	27	28	29	30
×	事務室 9:00~12:00/12:45~19:00 図書視聴学習室 9:30~18:30			×	事務室 9:00~12:00/12:45~19:00 図書視聴学習室 9:30~18:30	
閉所日	開館 8:30~19:00			学長が 定めた日	開館 8:30~19:00	

7/21(金)~7/30(日)の単位認定試験期間中、窓口は、12:00~12:45の間、ご利用できません。図書視聴学習室は、ご利用できます。

8月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
	×	open 10:00 close 18:30			open 9:30 close 18:00	
	学長が 定めた日	開館 9:00~18:30			開館 9:00~18:00	
7	8	9	10	11	12	13
×	×	×	×	×	open 9:30 close 18:00	
閉所日	臨時閉所日	臨時閉所日	臨時閉所日	山の日	開館 9:00~18:00	
14	15	16	17	18	19	20
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00~18:30				開館 9:00~18:00	
21	22	23	24	25	26	27
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00~18:30				開館 9:00~18:00	
28	29	30	31			
×	open 10:00 close 18:30					
閉所日	開館 9:00~18:30					

9月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
				open 10:00 close 18:30	open 9:30 close 18:00	
				開館 9:00~18:30	開館 9:00~18:00	
4	5	6	7	8	9	10
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00~18:30				開館 9:00~18:00	
11	12	13	14	15	16	17
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00~18:30				開館 9:00~18:00	
18	19	20	21	22	23	24
×	×	open 10:00 close 18:30			×	9:30~11:30 16:00~18:00 ●学位記 授与式
敬老の日	臨時閉所日	開館 9:00~18:30			秋分の日	開館 9:00~18:00
25	26	27	28	29	30	
×	open 10:00 close 18:30				open 9:30 close 18:00	
閉所日	開館 9:00~18:30				開館 9:00~18:00	

●9/24は学位記授与式の為、窓口は11:30~16:00の間ご利用できません。図書視聴学習室は、ご利用できます。

最新情報は、東京渋谷学習センター又はホームページにてご確認ください。

☎03-5428-3011

ホームページ

<http://www.campus.ouj.ac.jp/~shibuya/>



渋谷246セミナー予定表

(事前申込制)

日程、申込方法の詳細は、決まり次第センターに掲示、または東京渋谷学習センターのホームページ (<http://www.campus.ouj.ac.jp/~shibuya/>) でお知らせします。
なお、下記は4月1日現在の年間予定です。やむをえず中止等もございますのでご了承ください。概要などの詳細は、センターに配架しているチラシをご覧ください。

日時・講師	テーマ	日時・講師	テーマ
 5月6日(土) 14:00~16:00 センター講義室 客員教授 大杉 麻美 (明海大学 教授)	不動産取引と 後見制度の活用	 8月5日(土) 14:00~16:00 センター講義室 客員教授 米崎 直樹 (東京工業大学 名誉教授)	ソフトウェアの未来
 5月27日(土) 14:00~16:00 センター講義室 客員教授 船橋 恵子 (静岡大学 名誉教授)	少子高齢化時代における 育児支援政策：スウェーデン とアメリカを対比 させて	 8月26日(土) 14:00~16:00 センター講義室 客員教授 渋谷 一彦 (東京工業大学 名誉教授)	地球大気の歴史と 今後
 7月1日(土) 14:00~16:00 AP渋谷道玄坂 客員教授 中村 義人 (公認会計士・東洋大学 法科大学院非常勤講師)	人生に差をつける 会計を学ぶ	 9月17日(日) 14:00~16:00 センター講義室 客員准教授 山本 史華 (東京都市大学 准教授)	ポスト3.11の倫理 低線量被曝と希望

2学期(10月以降)開催予定の先生方

講演テーマ、開催日時は10月に発表いたします。ご期待ください。

講師	講師
 所長 宮本 文人 東京工業大学 名誉教授	 客員教授 三野 耕治 元農林水産技術会議 事務局 研究総務官
 客員教授 大野 隆造 東京工業大学 名誉教授	 客員教授 三村 優美子 青山学院大学 教授
 客員教授 奥田 進一 拓殖大学 教授	 客員教授 安宅 勝弘 東京工業大学 教授
 客員教授 出口 禎子 北里大学 教授	

放送大学
東京渋谷学習センター

平成29年度第1学期

面接授業科目の 追加登録について

科目登録状況により定員に満たなかった面接授業科目については、その科目を開設している学習センターで追加登録を受け付けます。

平成29年度第1学期は、4月15日(土)12時から、空席状況を各学習センターでの掲示、キャンパス・ネットワーク・ホームページでお知らせします。

4月21日(金)15時以降はシステムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認することができます。

なお、科目登録方法は、その面接授業を開設している学習センターにより異なりますので具体的な受付方法については、それぞれの学習センターにお問い合わせください。

東京渋谷学習センターで開講している面接授業科目の 追加登録の方法は次のとおりです

A. 窓口 4月21日(金)より登録開始

受付初日の21日に限り、午前10時までに追加登録抽選会場に入室した方を対象に、登録する順番を決める抽選を以下の①～③の手順で行ないます。

申請の際には学生証と授業料が必要となりますので、忘れずにお持ちください。

- ① 21日9時に抽選会場を開場し、同10時に抽選会場の入場を締め切ります。
- ② 入場された方から学生証をお預かりし、抽選を行ないます。(30分程度)
- ③ その抽選により決まった順に学習センター窓口にて、面接授業科目追加登録申請書を提出、授業料をその場で現金で納入していただきます。

※ 窓口での随時登録受付はこの抽選会の終了後より開始し、科目ごとに定められた受付期限まで行います。

B. 郵送 4月15日(土)より受取開始(登録開始は22日から)

空席状況の発表後から、郵送での申請用紙と授業料の受け取りを開始します。

●面接授業科目追加登録申請書 ●所定の授業料

●学生証のコピー ●返信用封筒(宛先を記載、82円切手を貼付)

以上4点すべてを同封の上、現金書留により学習センターまでお送りください。

ただし、15日から登録初日(4月21日)までに到着したものはお預かりのみとし、上記Aの抽選完了後の翌日22日に開封、空席があれば登録を行ないます。

期限内に郵便が届かなかった場合、申請した科目がすでに満席の場合、登録内容に不備がある場合は返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しいたします。ご了承ください。

お知らせ

渋谷246セミナーが、NHKラジオで放送されます！

NHKラジオ第2「文化講演会」

6ページでご紹介しましたように、東京渋谷学習センターでは、平成25年度から東京渋谷学習センター教員の専門分野をご紹介するミニ講義「渋谷246セミナー」を開催しています。3月11日と19日に行われた渋谷246セミナーは、講演の様子が収録され、NHKラジオ第2の番組「文化講演会」で以下の時間に放送されることとなりました。当日参加できなかった方も、渋谷246セミナーに参加したことが無い方も、セミナーの様子がわかりますので、是非、聴講してみてください。（肩書きは開催当時のものです）



地域社会とマーケティング・流通
生活文化を生かすマーケティング

2017年3月11日
放送大学客員教授
三村優美子

講師 客員教授 三村優美子

テーマ 地域社会とマーケティング・流通
生活文化を生かすマーケティング

放送日 5月21日（日） 21：00～22：00

再放送 5月27日（土） 6：00～7：00

講師 所長 酒井善則

テーマ 一通信技術者の体験した
情報通信産業進展の時代

一通信技術者の体験した
情報通信産業進展の時代

放送大学東京渋谷学習センター
所長 酒井 善則
平成25年3月11日（日）

放送日 6月4日（日） 21：00～22：00

再放送 6月10日（土） 6：00～7：00



（講演資料は、希望者にお渡しできます。センター事務室窓口にてお申し出ください。）

編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「お知らせ」にあるように渋谷の246セミナーがNHKで放送されることとなりました。セミナーの趣旨「初学者にもわかりやすく。“渋谷でマナブ”楽しさを。」が、評価されたのでしょうか。渋谷の街の変貌もワクワクして見えていますが、マナブ楽しさを知ることワクワクしませんか。この「渋谷でマナブ」も発行から1年。ほんの少しでも皆様のワクワクに貢献してますか？（R）